

躍進する 女性陣



越野運送 三浦綾乃さん

創業80年の歴史を持ち、精密機器やイベント資材輸送などを強みとする越野運送（越野泰弘社長、大阪市都島区）。同社の運行管理室で今年6月から働く事務員の三浦綾乃さん。仕事を始めるきっかけとなったのは、同社でドライ

バーをしている三浦さんの母親の紹介だ。

10年間、同社のドライバーをしている母親に連れられ、越野運送のイベントなどによく参加していたという三浦さん。入社を勧められた時は、社員に知り合いが多かったの

で、すんなりと受け入れられた。ドライバーも気さくで親しみやすいと当初から思っていた」と話す。

前職でも電話の対応の仕事はあったが、運送会社の電話対応では「お得意先のお客様なのか、新たに仕事を依頼する電話なのかなど、瞬時に判断しなければならぬのが難しい」と、話す。

同じフロアで働く上司の河野守忠営業部長は、「三浦さんの入社後は、自分の仕事に余裕が出て仕事がかどって

いる。電話の対応もお客様に好評で、ドライバーが会社に帰ってくると、彼女を見てホッとしているようだ」と高評価だ。

入社5か月で、ほぼ完璧に仕事をこなす三浦さん。「いずれは、三浦さんからお客様に電話をするような仕事もしてほしい」と、河野部長は期待を寄せる。

自らの性格を「一度決めたら曲げない」と分析する。「まだ5か月で、これからどんな仕事があるかは分からないが、ドライバーが笑顔で無事に帰ってきてくれるような雰囲気をつくりたい」と話す。

（木村麻理奈）

ドライバーの母から紹介